



平成31年度

予算のあらまし

目次

- 1. 予算規模 1
- 2. 予算の特徴
- 3. 一般会計 2
- 4. 特別会計 3
- 5. 一般会計歳入・歳出構成比
- 6. 予算額等の推移 5
- 7. 平成31年度の主要事業 7
- 8. 太田市の家計簿
～太田市を一般家庭に例えたら～... 9
～他の“まち”との比較～ 10

平成31年度太田市予算

一般会計当初予算

797 億 5 千万円（前年度比 0.6% 増）

総額 1,277 億 5,408 万 7 千円

1. 予算規模

（単位：千円・％）

会 計 区 分	H31 当初予算額	H30 当初予算額	比 較
一般会計	79,750,000	79,300,000	0.6
特別会計	40,567,494	41,268,133	▲ 1.7
下水道事業等会計	7,436,593	7,365,457	1.0
合 計	127,754,087	127,933,590	▲ 0.1

2. 予算の特徴

（1）過去2番目に大きな予算

一般会計の予算規模は797億5千万円で、過去2番目に大きな予算となりました。高齢者や障がい者を支援する社会保障費のほか、幼児教育の無償化に対応した予算を計上するなど扶助費が大きく伸びています。

（2）財源の確保

個人市民税や固定資産税は堅調に推移していますが、法人市民税の大幅な減により市税全体では397.1億円（前年度比1.4％減）となるほか、普通交付税の減などによる財源不足を補うため、好況時に積み立てておいた財政調整基金を活用します。また、「おおた渡良瀬産業団地企業誘致推進事業」を着実に進めるなど市税収入の確保に努め、財政基盤をより強固なものとしします。

（3）第3次実施計画関連事業の着実な取り組み

義務教育学校施設整備事業、運動公園陸上競技場建設事業、尾島体育館改築事業などのハード事業のほか、ソフト事業として空家等除却補助事業、国際スポーツキャンプ誘致事業、1％まちづくり事業などを引き続き実施します。

（4）市民満足度の向上

満足度の低い道路網の整備については、狭あい道路整備事業を拡充するなど、引き続き重点的に取り組むほか、要望の多い住宅リフォーム支援事業についても、引き続き実施します。

（5）高齢者と子供にやさしい予算

一人暮らし高齢者向けに「特殊詐欺電話対策装置貸与事業」を新たに実施します。また、子育て支援として太田市独自の施策である「第3子以降子育て支援事業」、「第2子子育て支援事業」及び「こどもプラッツ推進事業」などを引き続き実施するほか、3歳児健診に合わせて「尿中コチニン検査モデル事業」を新たに実施します。

3. 一般会計

【歳入】

(単位：千円・%)

(単位：千円)

区 分	H31当初予算額	H30当初予算額	比 較	(参考) H30決算見込 (3月補正後)
市税	39,710,946	40,288,700	▲ 1.4	42,178,152
地方譲与税	749,434	740,001	1.3	740,001
地方消費税交付金	4,650,000	4,300,000	8.1	4,300,000
地方交付税	600,000	1,560,000	▲ 61.5	1,432,561
国庫支出金	11,638,556	10,841,001	7.4	11,062,285
県支出金	6,393,069	5,929,968	7.8	6,100,659
繰入金	3,880,404	3,051,018	27.2	3,075,105
（うち財政調整基金）	(3,500,000)	(2,400,000)	(45.8)	(2,437,491)
（うち減債基金ほか）	(380,404)	(651,018)	(▲ 41.6)	(637,614)
市債	4,422,400	4,798,600	▲ 7.8	3,649,734
（うち通常債）	(4,172,400)	(3,988,600)	(4.6)	(2,949,900)
（うち臨時財政対策債）	(250,000)	(810,000)	(▲ 69.1)	(699,834)
その他	7,705,191	7,790,712	▲ 1.1	8,010,168
合 計	79,750,000	79,300,000	0.6	80,548,665

●通常債とは、建設事業に充てる地方債を意味します。

●その他の内訳は、諸収入3,513,779千円、使用料及び手数料2,029,629千円、分担金及び負担金1,197,534千円などです。

【歳出】

(単位：千円・%)

(単位：千円)

区 分	H31当初予算額	H30当初予算額	比 較	(参考) H30決算見込 (3月補正後)
議会費	460,084	470,336	▲ 2.2	463,654
総務費	8,641,476	8,383,507	3.1	8,493,017
民生費	32,328,160	31,560,011	2.4	32,801,578
衛生費	5,597,758	6,158,715	▲ 9.1	6,178,980
労働費	166,049	202,301	▲ 17.9	196,311
農林水産業費	1,279,714	1,473,739	▲ 13.2	1,482,536
商工費	2,354,384	2,418,902	▲ 2.7	2,435,165
土木費	6,411,178	7,425,864	▲ 13.7	7,626,631
消防費	3,629,979	3,738,984	▲ 2.9	3,786,293
教育費	10,869,149	9,419,785	15.4	9,073,353
公債費	7,910,068	7,940,855	▲ 0.4	7,904,146
（うち通常債元金）	(5,040,214)	(5,062,567)	(▲ 0.4)	(5,062,595)
（うち臨時財政対策債元金）	(2,312,113)	(2,257,500)	(2.4)	(2,261,396)
（うち利子ほか）	(557,741)	(620,788)	(▲ 10.2)	(580,155)
その他	102,001	107,001	▲ 4.7	107,001
合 計	79,750,000	79,300,000	0.6	80,548,665

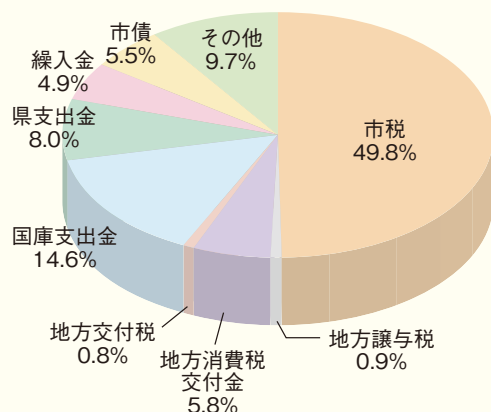
4. 特別会計

(単位：千円・%)

会 計 区 分	H31当初予算額	H30当初予算額	比 較
国民健康保険	21,146,148	22,716,035	▲ 6.9
住宅新築資金等貸付	8,245	9,530	▲ 13.5
後期高齢者医療	2,354,195	2,229,363	5.6
八王子山墓園	31,187	53,391	▲ 41.6
介護保険	16,749,714	15,975,809	4.8
太陽光発電事業	278,005	284,005	▲ 2.1
合 計	40,567,494	41,268,133	▲ 1.7

5. 一般会計歳入・歳出構成比

① 歳入



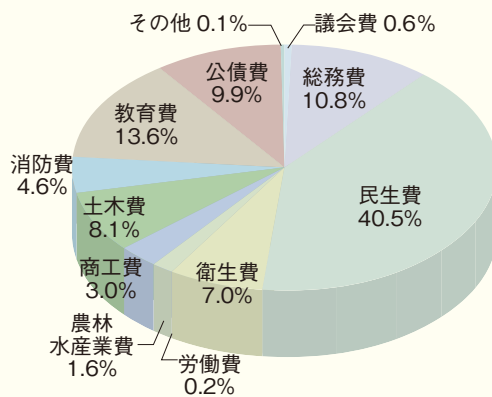
収入の約半分が、市民のみなさんや会社が納めてくれる「市税」でまかなわれているよ。

10月から消費税率が引き上げになるから「地方消費税交付金」が増えるね。この増額分は社会保障施策に使われるよ。



	H31	H30	比較 (千円)
市税	39,710,946	40,288,700	▲ 577,754
地方譲与税	749,434	740,001	9,433
地方消費税交付金	4,650,000	4,300,000	350,000
地方交付税	600,000	1,560,000	▲ 960,000
国庫支出金	11,638,556	10,841,001	797,555
県支出金	6,393,069	5,929,968	463,101
繰入金	3,880,404	3,051,018	829,386
市債	4,422,400	4,798,600	▲ 376,200
その他(※1)	7,705,191	7,790,712	▲ 85,521
合 計	79,750,000	79,300,000	450,000

(※1) H31の内訳：諸収入3,513,779千円、使用料及び手数料2,029,629千円、分担金及び負担金1,197,534千円など



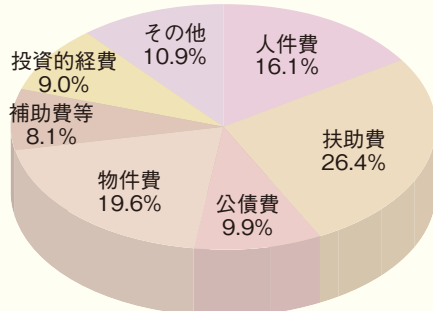
② 歳出 [目的別]

民生費が毎年増えているから、予算額の合計が増えているよ。高齢者や障がい者の支援のほかに、幼児教育の無償化が始まるんだ。義務教育学校や運動公園陸上競技場をつくるから教育費も増えているね。



	H31	H30	比較 (千円)
議会費	460,084	470,336	▲ 10,252
総務費	8,641,476	8,383,507	257,969
民生費	32,328,160	31,560,011	768,149
衛生費	5,597,758	6,158,715	▲ 560,957
労働費	166,049	202,301	▲ 36,252
農林水産業費	1,279,714	1,473,739	▲ 194,025
商工費	2,354,384	2,418,902	▲ 64,518
土木費	6,411,178	7,425,864	▲ 1,014,686
消防費	3,629,979	3,738,984	▲ 109,005
教育費	10,869,149	9,419,785	1,449,364
公債費	7,910,068	7,940,855	▲ 30,787
その他(※2)	102,001	107,001	▲ 5,000
合 計	79,750,000	79,300,000	450,000

(※2) H31の内訳：諸支出金2,000千円、予備費100,000千円など



③ 歳出 [性質別]

扶助費が増えているのは、目的別の民生費が増えているのと同じ理由だよ。市民サービスのための物件費（委託料など）も増えているね。補助費等が減るのは、事業の見直し（補助金など）を行ったからだね。



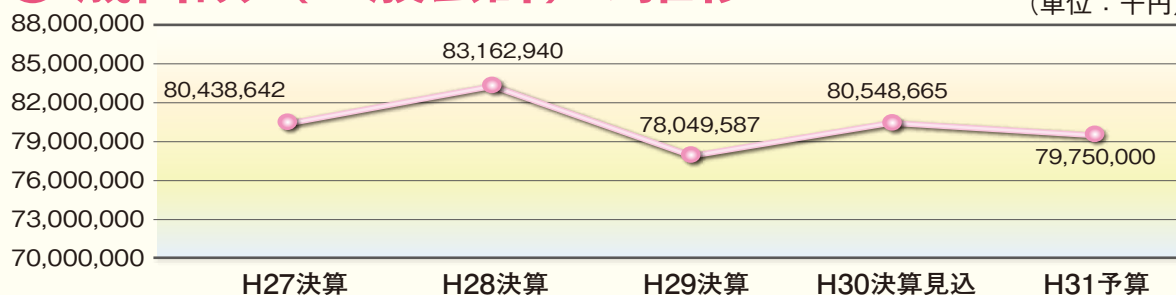
	H31	H30	比較 (千円)
人件費	12,819,055	12,938,402	▲ 119,347
扶助費	21,071,967	19,958,749	1,113,218
公債費	7,909,564	7,940,355	▲ 30,791
物件費	15,654,034	14,811,240	842,794
補助費等	6,456,999	7,336,964	▲ 879,965
投資的経費	7,171,580	7,585,856	▲ 414,276
その他(※3)	8,666,801	8,728,434	▲ 61,633
合 計	79,750,000	79,300,000	450,000

(※3) H31の内訳：繰出金6,100,080千円、貸付金2,003,802千円、維持補修費385,021千円など

6. 予算額等の推移

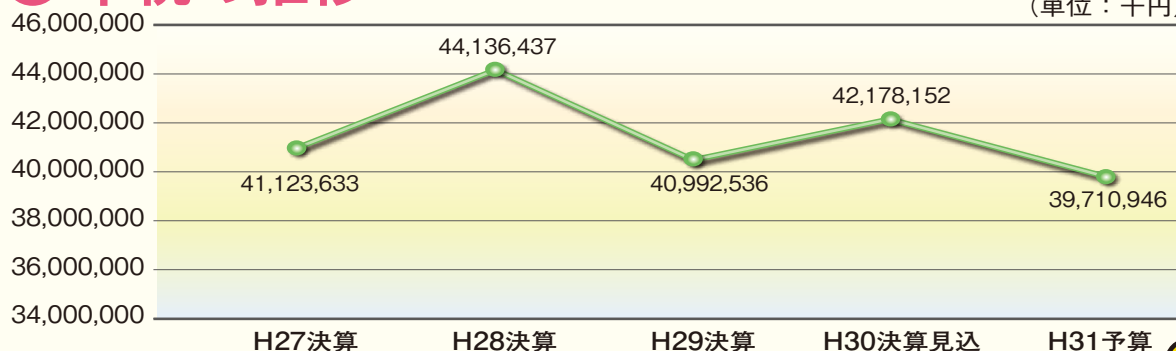
① 歳出額（一般会計）の推移

（単位：千円）



② 市税の推移

（単位：千円）

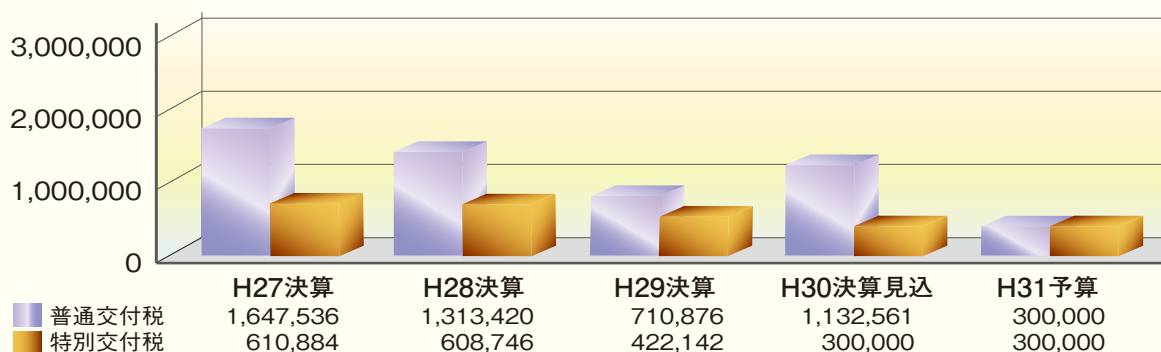


市税の変動幅が大きいの、太田市の特徴だね。法人市民税（景気動向や企業業績）の影響だよ。



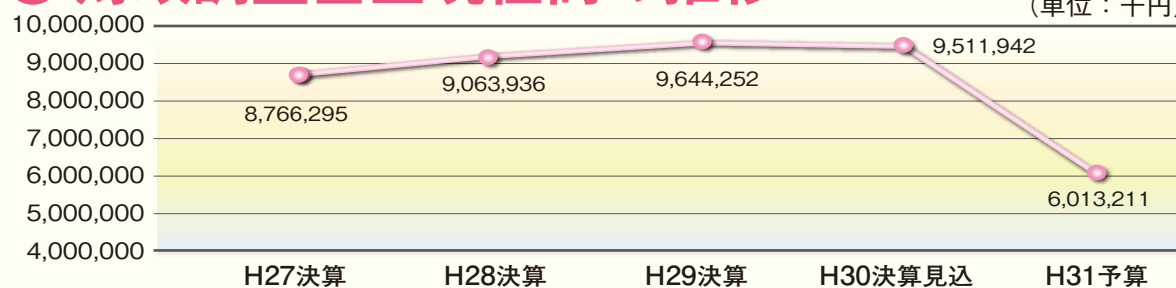
③ 地方交付税の推移

（単位：千円）



④ 財政調整基金現在高の推移

（単位：千円）



財政調整基金は、太田市の貯金だよ。

市税と地方交付税が減るから、35億円を取り崩して活用するよ。

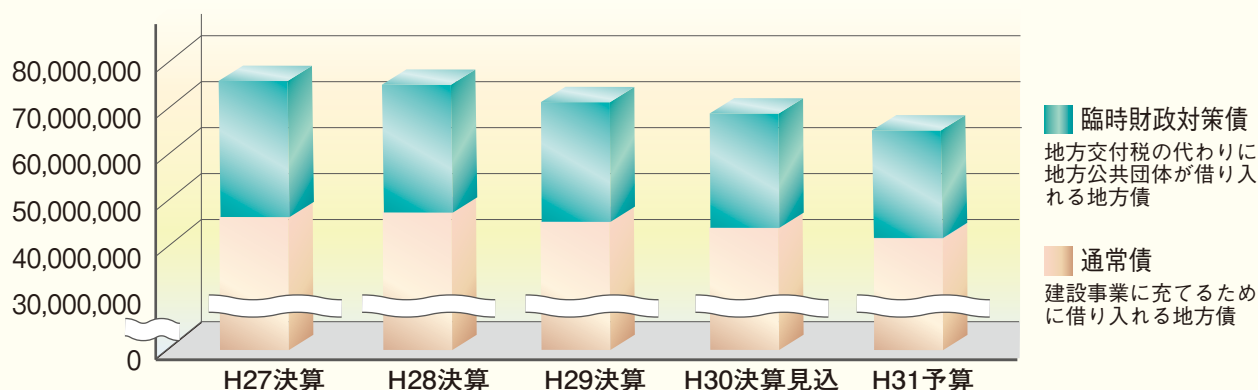
H31予算はかなり減っているように見えるけど、心配しないでね。今までと同じくらい節約した分（決算剰余金）を貯金できれば、80～90億円になるよ。



⑤ 市債現在高等の推移

一般会計市債現在高

(単位：千円)



H23の824億円をピークに、市債の現在高が大きく減っているよ。
今後も財政規律『償還元金を超えない市債の発行』を守りながら、必要な投資は行っていくよ！



区分	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算見込	H31予算
一般会計					
通常債	43,239,217	44,329,853	42,026,312	40,513,417	39,645,603
臨時財政対策債	29,947,631	28,618,792	26,838,623	25,277,061	23,214,948
合計	73,186,848	72,948,645	68,864,935	65,790,478	62,860,551

公営企業会計等	H27決算	H28決算	H29決算	H30決算見込	H31予算
水道事業会計	15,018,697	—	—	—	—
下水道事業等会計	29,014,741	28,114,764	27,309,921	26,597,705	26,516,314
特別会計	62,276	51,205	176,305	167,905	160,369
土地開発公社長期借入金	50,825	4,927	279,707	330,280	330,281
合計	44,146,539	28,170,896	27,765,933	27,095,890	27,006,964

※特別会計は、住宅新築資金等貸付、八王子山墓園の合計

⑥ 財政健全化判断比率の推移

財政健全化判断比率とは、自治体の財政破たんを未然に防ぎ、危険な兆候がある場合には早期、かつ、計画的に健全化を図るための指標として、平成19年度決算から導入されています。太田市はいずれも「財政再生基準（赤信号）」、「早期健全化基準（黄信号）」を下回っており、なおかつ、数値も改善されています。

区分	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	—	—	—	11.25%	20.0%
②連結実質赤字比率	—	—	—	—	16.25%	30.0%
③実質公債費比率	7.5%	6.9%	6.4%	5.5%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	65.8%	51.7%	50.6%	41.8%	350.0%	—

- ①実質赤字比率 自治体のメインの会計である一般会計等の実質収支の赤字額が標準財政規模（地方税や地方交付税等の使い道の定められていない財源の大きさのことです。）に占める割合を指しています。
- ②連結実質赤字比率 自治体の全会計（＝企業会計等を含む）の赤字・黒字を合算した結果赤字があった場合に、その額が標準財政規模に占める割合を指しています。
- ③実質公債費比率 一般会計等が負担する1年あたりの借金返済額（企業会計等＋一部事務組合等の分を含む）が標準財政規模に占める割合を指しており、実質的な借金返済負担の重さを示します。
- ④将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債（＝企業会計等＋一部事務組合等＋地方公社・第三セクター等の分を含む）が標準財政規模の何倍あるかを指しています。

7. 平成31年度の主要事業

◎ 新たな取り組み

(単位：千円)



① 運転免許証自主返納支援助成金	1,500
② B U S ターミナルおた改修事業	15,000
③ 特殊詐欺電話対策装置貸与事業	10,000
④ 尿中コチニン検査モデル事業	9,119
⑤ 産婦健康診査事業	9,580
⑥ 金山遊歩道改修事業	30,000

① 教育文化の向上

(単位：千円)



① 義務教育学校施設整備事業 (H31 ~ H32)	728,880
② 運動公園陸上競技場建設事業 (H29 ~ H32)	975,000
③ 尾島体育館改築事業	488,000
④ 西中学校給食室改築事業	180,000
⑤ I C T 教育機器整備事業	60,000
⑥ 国際スポーツキャンプ誘致事業 (オーストラリア、マラウイ共和国)	10,000

② 福祉健康の増進

(単位：千円)



① 第3子以降子育て支援事業 (保育料減免等含む)	275,514
② 第2子子育て支援事業	207,744
③ こどもプラッツ推進事業	151,057
④ 施設型給付費負担金 (幼児教育無償化に対応)	4,511,358
⑤ 予防接種事業	675,937
⑥ 市民健康診断事業 (各種健診等)	565,182

※①の事業には、保育料無料化による歳入の減免分55,833千円が含まれています。

③ 生活環境の整備

(単位：千円)



① 狭あい道路整備事業	100,000
② ごみ収集業務委託事業	561,237
③ 広域一般廃棄物処理施設整備事業 (新焼却炉建設費)	149,351
④ 消防車両・救急車両等整備事業	140,000
⑤ 空家等対策事業 (空家等除却補助金)	50,876
⑥ 防犯対策事業 (防犯カメラ整備等)	106,478

④ 産業経済の振興

(単位：千円)



①商店リフォーム支援事業	20,000
②空き店舗対策事業	10,900
③有害鳥獣対策等経費	42,300
④小規模農村整備事業	70,000
⑤観光トイレ整備事業（呑龍公園）	40,000
⑥ねぶた太鼓台収納庫建設事業	5,000

⑤ 都市基盤の整備

(単位：千円)



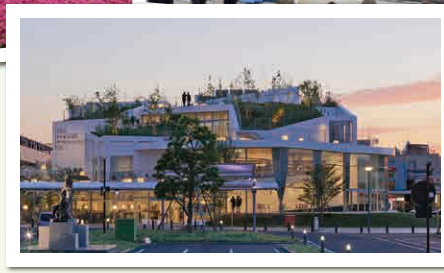
①市営無料バス運行事業（東バス、西バス系統）	94,095
②住宅リフォーム支援事業	100,200
③道路改良・整備事業（道路維持経費等）	991,555
④区画整理事業（太田駅周辺、東矢島、宝泉南部、尾島東部）	574,847
⑤スマートインターチェンジ周辺整備事業 （スケートボード場整備事業含む）	16,583
⑥市営住宅建設事業（鳥之郷、三島）	450,000

⑥ 健全な行政運営の推進

(単位：千円)



①おおたシティプロモーション事業	6,000
②本庁舎設備等保全事業	70,000
③南ふれあいセンター、毛里田行政センター改修事業	45,000
④(仮称) 新田地区複合公共施設建設事業	1,000
⑤1%まちづくり事業	60,000
⑥ふるさと応援寄附金事業	23,586



8. 太田市の家計簿

太田市を一般家庭に例えたら

収入

	H31 354,951円	比較 2,038円	H30 352,913円
給料 (市税)	176,745円	▲ 2,554円	179,299円
親からの仕送り (国・県支出金、地方交付税、 各種交付金 など)			
パート収入 (分担金・負担金や使用料・手数料)	110,316円	3,423円	106,893円
銀行等からの借り入れ (市債)			
預貯金の取り崩し (繰入金)	14,364円	▲ 253円	14,617円
雑収入 (諸収入 など)	19,683円	▲ 1,673円	21,356円
	17,271円	▲ 3,693円	13,578円
	16,572円	▲ 598円	17,170円

前年度と比べると、家計の規模が2,038円増えました。「給料」が減ったので、「預貯金の取り崩し」が増えています。「給料」を上げられるように渡良瀬産業団地の整備を進めています。高齢者、障がい者の支援や幼児教育の無償化のほか、消費税率引き上げの影響による「親からの仕送り」も増えています。

支出

	H31 354,951円	比較 2,038円	H30 352,913円
義務的経費			
食費、被服費 (人件費)	57,055円	▲ 525円	57,580円
養育費、教育費、医療費 (扶助費)	93,787円	4,963円	88,824円
ローンの返済 (公債費)			
家の増改築、車の購入など (投資的経費)	35,204円	▲ 133円	35,337円
光熱水費など生活雑費 (物件費)	31,919円	▲ 1,841円	33,760円
冠婚葬祭費、区費などの諸会費 (補助費等)	69,673円	3,758円	65,915円
その他 (貸付金、繰出金、維持補修費など)	28,739円	▲ 3,913円	32,652円
	38,574円	▲ 271円	38,845円

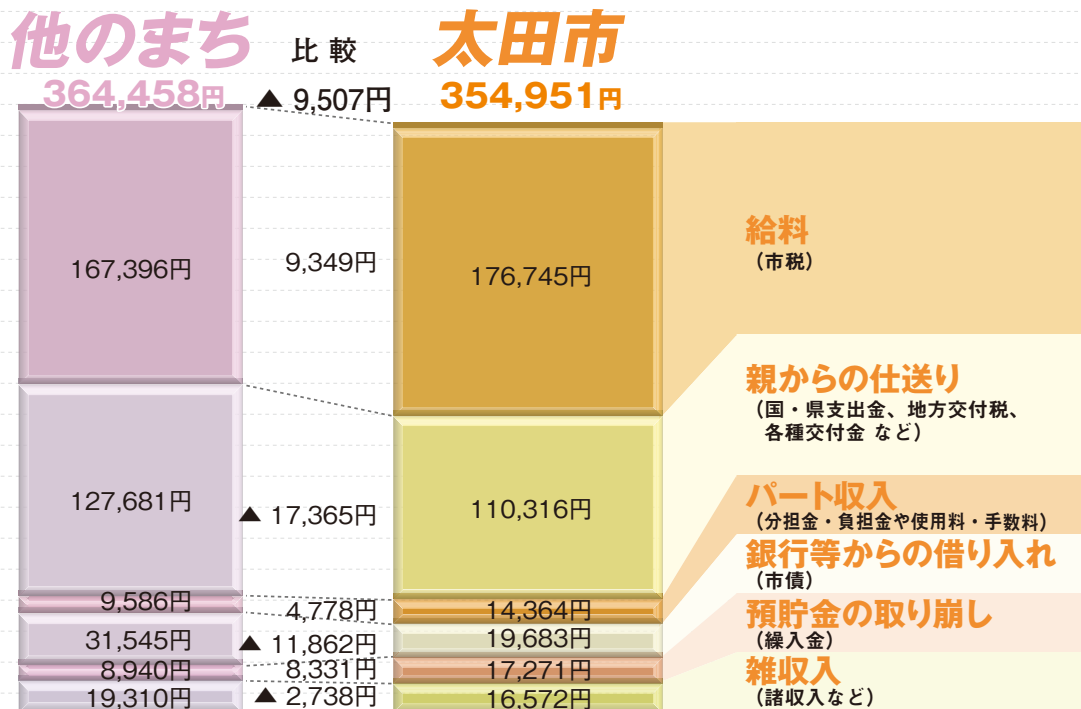
前年度と比べると、「養育費、教育費、医療費」が増えていて、高齢者や障がい者のほか、子育てに手厚い家計になっています。公共施設の改修や更新などを計画的に進めているので、「家の増改築・車の購入など」が減っています。

太田市の平成31年度一般会計予算を身近に感じていただけるように、「太田市の家計簿（市民一人あたり）」に例えてお知らせします。

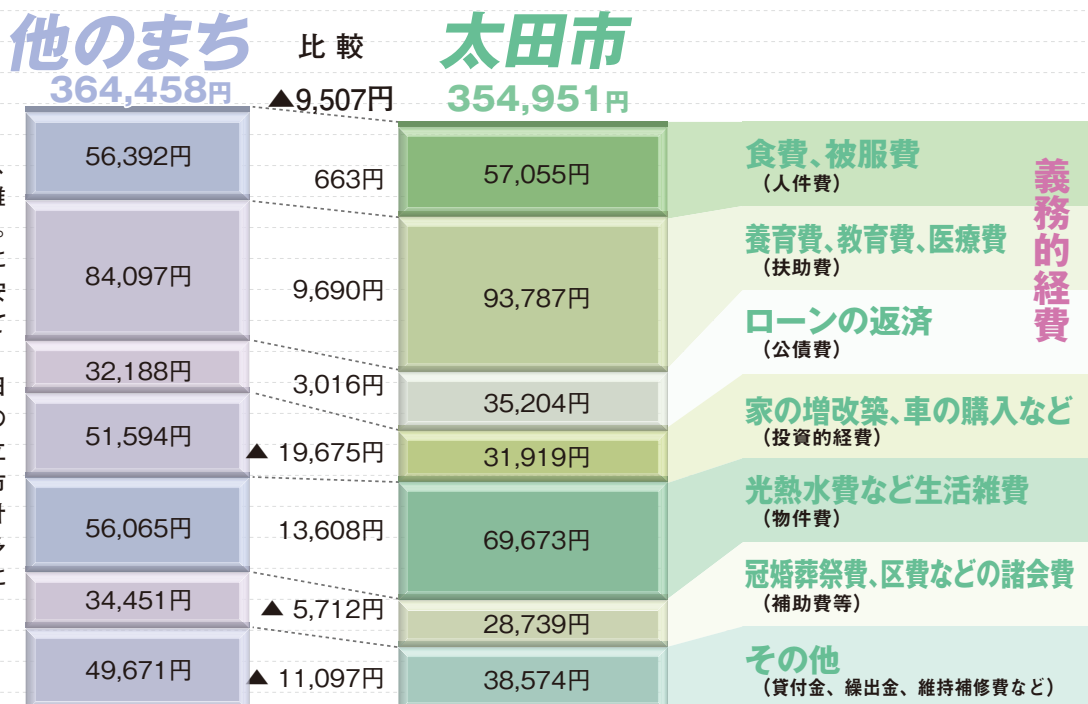
平成31年度当初予算額797億5千万円を人口224,679人（H31.1月末現在）で割ると1ヶ月354,951円の家計でやりくりする家庭に例えることができます。

他のまちとの比較

他のまちと比べると、家計の規模は9,507円太田市が下回っています。
「給料」が多い一方、「親からの仕送り」が少ないのは、地方交付税が少なく財政力指数が高いことのあらわれです。
また、「銀行等からの借り入れ」が少なくなっており、家計を健全に保とうと努めています。



他のまちと比べると、「光熱水費など生活雑費」が上回っています。節約(行財政改革)に努めることで今後も安定した家計を維持していきます。
なお、「その他」で太田市が下回っているのは、他のまちでは公立病院を保有している市もあり、その特別会計に対する繰出金が多額になっていることによるものです。



他のまち：家族構成(人口)や職業(産業構造)が似ている全国8市(特例市)の平均値とで比較してみました。

※比較に用いた8市：伊勢崎市(群馬県)・長岡市(新潟県)・沼津市(静岡県)・富士市(静岡県)・春日井市(愛知県)・一宮市(愛知県)・四日市市(三重県)・加古川市(兵庫県)

「元気なまち」おおた 製造品出荷額等全国11位

(平成29年工業統計調査結果より ※1)

「住みよさランキング」2018^{※2} 太田市は県内で連続1位です！

太田市は、県内1位 全国89位

都市名	ランキング
太田市	89位 (♂25)
高崎市	170位 (♂13)
前橋市	218位 (♂32)
伊勢崎市	289位 (♂49)

※1 順位は、「平成29年工業統計調査結果（平成28年実績）」をもとに集計したものです。

※2 「住みよさランキング」とは

公的統計を基に、全国の市を対象にそれぞれの市が持つ“都市力”を、「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」「住居水準充実度」の5つの観点に分類し、総合評価としてランキング化したものです。
(東洋経済新報社「都市データバック2018」より)

この印刷物は、古紙パルプ配合の再生紙と、環境にやさしい植物油インクを使用しております。

